

夜空のカガク～星と森の間のはなし～

2009 年度一般向けコウモリセミナー企画

コウモリ研究ってどう行われているの？

調査の実際を見学してみよう

自然観察はしたことがあるけれど、コウモリ観察はどうしてるんだろう

なかなか身近と思えない、コウモリの世界。しかし地球の半分はいつも夜です。そして時間と場所がある限り、自然はいつも動いています。その空間を利用できる生き物は必ず現れるものです。こんな夜の空を活用する野生動物の世界をご紹介しますため、本企画を実施することになりました。

2010 年 1 月 2 3 日（土）「コウモリ類生息地探索実習」

あらたなコウモリの分布を求める探索活動をおこないます。何が見られるかわからない、または何も見られない可能性もあるという日々のコウモリ調査というものの実態を体験してみましょう。実施場所は愛知県を予定しています。

○持ち物、スタイル

・野外での活動なので、汚れて良いような動きやすい服装でご参加下さい。

例：基本的コウモリ調査スタイル：ヘッドランプをつけたヘルメット、作業服上下またはツナギ服、手袋、長靴、予備ランプ、野帳・筆記具

・参加費は基本的に無料です。個人にかかる費用が発生した場合は当日実費精算することがあります。

○参加申し込み締切：1月19日（火）

2010 年 2 月 7 日（日）10 時～12 時「バットカフェ ～2009 年度研究交流会～」

コウモリ研究者による研究発表会をおこない、質疑による時間を多く作ります。最近の研究がどのように行われているか、インドアでお聴き下さい。

発表演題（予定）：北海道における人工洞内の温度環境

前田喜四雄

H21 年度コウモリ類生息状況調査報告

橋本肇

近畿地方におけるバットボックスの設置と利用状況

徐華

○参加申し込み締切：2月2日（火）

○参加申し込み

実施日ごとに事前に住所氏名年齢（学生の場合は学年も）を koumori@abri.or.jp でまで、Email または電話、FAX でお知らせ下さい。確認の連絡をさしあげて受け付けとします。

○お知らせ

このイベント（活動）は、独立行政法人科学技術振興機構の平成 21 年度地域の科学舎推進事業地域活動支援（草の根型）により実施しています。そのため、ご参加に当たって幾つかの同意事項がありますのでご協力をお願いします。

・活動状況写真の記録をおこないます。これは科学技術振興機構の広報等で利用される場合があります。

・当日、終了後に参加アンケートをお願いします。

・本活動について、下記の内容で保険に加入し、万一の場合にはこの範囲内での補償が受けられます。また、対象となるのは当日集合から解散までの間です。

傷害保険	
死亡・後遺障害	500万円
入院（1日当たり）	5,000円
通院（1日当たり）	3,000円

死亡	偶然な事故によってケガをし、そのケガのため事故の日からその日を含めて180日以内に亡くなった場合
後遺障害	偶然な事故によってケガをし、そのケガのため事故の日からその日を含めて180日以内に身体の一部を失ったり、その機能に重大な障害を永久に残った場合
入院	偶然な事故によってケガをし、そのケガのため入院（入院に準じた状態を含む）した場合（事故の日からその日を含めて180日以内）
通院	偶然な事故によってケガをし、そのケガのため医師の治療を受けた場合（平常の生活または業務ができる程度に治った暇での通院（往診を含む）に対し90日以内）

連絡先：

〒630-1101 奈良県奈良市広岡町 213-3 NPO 法人 東洋蝙蝠研究所

TEL:0742-95-0023 FAX：0742-95-0888

担当：橋本肇

当日連絡先：080-6129-0759